

# 08

## 新幹線N700系7000番台

山陽・九州新幹線相互直通車両の開発

### Shinkansen N700-7000 Series

Development of new train  
for Sanyo-Kyushu Shinkansen through services

デザイン学科・教授  
Department of Design・Professor

木村 一男 Kazuo KIMURA

ドーンデザイン研究所  
DON Design Associates

水戸岡 鋭治 Eiji MITOOKA

近畿車輛株式会社・デザイン室  
The Kinki Syaryo Co., Ltd. Designing Dept.

西日本旅客鉄道株式会社・車両部  
West Japan Railway Company, Rolling Stock Dept.

九州旅客鉄道株式会社・運輸部  
Kyushu Railway Company, Transportation Dept.

## プロジェクトの概要

新幹線N700系7000番台車両は、2011年春、九州新幹線の全線開業とともに始まる新大阪-鹿児島中央間の相互直通運転のために、JR西日本とJR九州が共同開発した8輛編成の列車である。

そのデザイン・コンセプトは「凜(りん)」。古来からの伝統と文化の豊かな関西圏と九州圏を結ぶ車両にふさわしいキーワードとして選ばれた。

エクステリアカラーは、陶磁器の青磁を思わせる白藍色とし、それに濃藍色と金色の帯を配して、上質な感覚を表している。

インテリアデザインは、客室内やデッキ部に多くの木目を配し、特に乗客が触れるテーブルや手すりなどには、本物の木材を使用した。

グリーン車の車内の側壁と天井はホワイトベージュを基調とした布目柄で、内妻仕切壁は古代桜調の木目シートを張り、通路のカーペットには紫紺色と金茶色の唐草模様を配した。シートは光沢感のある唐草模様の生地を張り、N700系のシンクロリクライニング機構に加え、枕とレッグレスト装置を付した。

普通車の指定席車は、このシリーズの目玉ともいえる存在で、シートはグリーン車同様の2+2列配置、濃菜種色の遠山紋のモケットを張ったゆったりとしたデザインである。

その他、電動車椅子利用の乗客も使用できる大型の多機能便所、女性乗客のための専用便所、等身大の大型鏡を備えたパウダールーム、そして全面禁煙にともない2カ所の喫煙ルームを備えている。

このデザイン開発には2006年11月から着手し、2008年10月の量産先行車の完成まで約2カ年を要している。

この列車は、2008年11月から山陽新幹線において各種試験を実施し、車両性能、耐久性能などの確認を行って、その結果を量産設計にフィードバックして、28編成の量産に入ることになっている。

### 【仕様】

- ・座席定員: 546名
- ・最高運転速度: 山陽=300km/h、九州=260km/h
- ・編成出力: 9760kW



写真1:N700系7000番台の外観／先頭部に相互直通のマークが入っている



写真2:グリーン車のシート



写真3:普通車指定席のシート



写真4:パウダールーム(5号車)



写真5:多機能便所(7号車)